

## 令和5年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

経営情報システム分野  
3級 経営情報システム

## 試験問題

(14 ページ)

## 1. 試験時間 110 分

## 2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、受験票に記載されている試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。  
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点  
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和5年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシート（解答用紙）には、①試験区分名、②氏名、③座席番号、④受験番号、⑤生年月日を正確に記入してください。なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆又はシャープペンシルのいずれかで、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) マークシートには、所定の事項以外は絶対に書き込まないでください。なお、計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (9) マークシートにはア～エまでマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があつたら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) 替え玉受験、試験中に受験者間で情報を授受する行為、指定されたものの以外のものを机の上に置く行為、カンニング行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。
- (17) 試験終了後の正解表の公表、合格発表等のスケジュールは、受験票に記載しておりますので、ご確認ください。

問題文中、次の法令等は略称で記載されています。

- ・個人情報の保護に関する法律→個人情報保護法
- ・不正アクセス行為の禁止等に関する法律→不正アクセス禁止法

問題1 フラグメンテーションに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. S S D (Solid State Drive) においては、H D D よりも速度低下が著しくなる。
- イ. デフラグメンテーションによって問題が解消する。
- ウ. キャッシュメモリの利用による改善効果が高い。
- エ. ファイルサイズが大きい場合に発生しやすい。

問題2 高性能システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 複数のプロセッサを1つにまとめて、処理を分散、並列化できるマルチコアプロセッサが計算速度を向上させる。
- イ. G P G P U では、一般的な演算速度を向上させることができない。
- ウ. グリッドコンピューティングでは、参加するコンピュータの性能が低くても大量の処理を高速に実行できる。
- エ. A I (人工知能) では、大量のデータからコンピュータがさらに効率的なルールを導き出すことができる。

問題3 下記の＜説明＞を参考に、A I (人工知能) 利活用における原則とその解説の記述として適切なものは、次のうちどれか。

＜説明＞

A I (人工知能) 技術の進展に伴い、その利活用のための倫理的ガイドラインの検討が世界各地で行われている。日本では、内閣府が2019年3月に「人間中心のA I 社会原則」を、総務省が2019年8月に「A I 利活用ガイドライン」を公表している。その「A I 利活用ガイドライン」には、①適正利用の原則、②適正学習の原則、③連携の原則、④安全の原則、⑤セキュリティの原則、⑥プライバシーの原則、⑦尊厳・自律の原則、⑧公平性の原則、⑨透明性の原則、⑩アカウントビリティの原則、以上10個の原則が記載されている。

- ア. 「①適正利用の原則」では、利用者が適正な範囲及び方法でA I システム又はA I サービスを利用するよう努めることを求めている。
- イ. 「⑤セキュリティの原則」では、利用者がセキュリティ対策を意識する必要がないよう、A I サービスプロバイダ側が十分な対策を採ることを求めている。
- ウ. 「⑧公平性の原則」では、多数派となる意見を尊重することを求めている。
- エ. 「⑨透明性の原則」では、A I が結論を導く際のアルゴリズムを公開することを求めている。

問題4 文字コードに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. J I Sが定めたコードには、A S C I Iコードに半角のカタカナを追加した「JIS X 0201」と、それに2バイト漢字コードを加えた「JIS X 0208」がある。
- イ. シフトJ I Sコードは、パソコンで広く用いられているコードであり、1バイトコードの半角文字と2バイトコードの全角文字がある。
- ウ. E B C D I Cは、A S C I Iコードを拡張したもので、汎用コンピュータで広く用いられている文字コードである。
- エ. 2バイトで世界中の文字を表現する文字コードであるUnicodeが国際規格の「ISO-2022-JP」になり、日本では「JIS X 0221」になった。

問題5 プログラミングに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 使用するO Sの開発言語をプログラミング言語に用いることが最も機能的である。
- イ. ローコード開発プラットフォームでは、最低限のコード、もしくは全くコードを書かずに開発できる。
- ウ. コンパイラとエディタは、同一メーカーのものを使わなければならない。
- エ. インタプリタ方式によるプログラム実行は、コンパイラ方式よりも高速に実行できる。

問題6 Bluetoothに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. P CとBluetooth機器とを多対1で接続する前提で、規格が作られている。
- イ. スマートフォンとP Cを接続させて、通信環境を構築することができる。
- ウ. イヤホンやスピーカーなどの音響機器を、接続することができる。
- エ. マウスやキーボードなどの入力装置を、接続することができる。

問題7 O S I (Open Systems Interconnection) 参照モデルに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. アプリケーション層では、電子メールやW e bページの閲覧、ファイル転送などを行う際の機能や表示のための規約が定められている。
- イ. H T T PやS M T P、P O P 3などはデータリンク層に含まれる。
- ウ. 物理層では、機器や回線の接続・切断のための電氣的仕様や、機械的仕様が定められている。
- エ. T C PやU D Pは、トランスポート層にあたる。

問題8 以下の＜事例＞に基づき適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

インターネット接続には、現在は主に I P v 4 (Internet Protocol Version 4) が利用されている。しかし、この I P v 4 の I P アドレスが枯渇することが 1990 年代より懸念されるようになり、I P v 6 に移行する必要があるといわれていた。

- ア. I A N A (Internet Assigned Numbers Authority) の管理する I P v 4 アドレスは全て割当てが終わったが、ここから各国に割り当てられているアドレスには未だ余裕があり、これを再割り当てするため、完全に枯渇するまでは十分な余裕がある。
- イ. I P マスカレード技術により、ローカルなアドレスとグローバルなアドレスの使い分け技術が発達したため、実質的には枯渇の問題はなくなった。
- ウ. I P v 4 と I P v 6 は、規格に互換性があるため、電話番号の桁数を増やすのに電話機を交換する必要がないのと同様に、プロバイダ側の設備改修は必要であるが、一般のユーザーには、枯渇問題は関係しない。
- エ. I P v 4 から I P v 6 への移行の必要性がいられていたにもかかわらず、移行がなかなか進まない理由は、一般ユーザーにとって利便性が向上するものではないから、といわれている。

問題9 生成 A I に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 生成 A I という言葉は、「生産又は発生することができる」という意味の単語と「A I」を組み合わせた「Generative AI」の日本語訳である。
- イ. 生成 A I の機能とは、学習した内容を元に、質問への回答や、文章、プログラムソースなどのテキストデータを生成することである。
- ウ. 生成 A I は、従来の A I のように情報の特定や予測を目的とするのではなく、データのパターンや関係を学習して新たなコンテンツを生成することを目的とする。
- エ. 生成 A I には課題や懸念事項が多数あるが、既存著作物と類似のものを生成した場合に元の著作権者への権利侵害が発生するかどうか、という点もそのひとつである。

問題10 機械学習に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. エキスパートシステムは、高度な職人の加工技術をトレースするものとして、3 D プリンタと併せた活用が期待されている。
- イ. デザインパターンと呼ばれる 23 の推測モデルを用いて、機械学習の予測の精度が向上している。
- ウ. 機械学習による妥当解は、遺伝アルゴリズムで計算され、反復的にモデルを修整するため、最適解とは限らない。
- エ. ニューラルネットワークは、生物の骨格を模したモデルを使って計算が行われる。

問題11 経済産業省では、中堅・中小企業のDX推進ガイドとして「デジタルガバナンス・コード実践の手引き2.0」を2023年に発行している。この中で、中堅・中小企業がDXを推進する際に、先行する大企業よりも有利な条件になるものとして挙げている事項がいくつかあるが、それに該当しないものは、次のうちどれか。

- ア．後発企業は、先行者により整備されたプラットフォームを利用して新たなビジネスに取り組むことができる。
- イ．規模が小さいため、ひとりの担当者が多くの役割をこなすことができる。
- ウ．経営者が即断・即決することで新たな取り組みを行いやすい。
- エ．デジタル技術を活用しながら、素早く変わり続けることができる企業へと組織文化を変革することができる。

問題12 システム化計画における業務分析に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．業務分析では、業務をいくつかの要素に分解し、その機能、プロセス、情報の流れ等を明らかにする。
- イ．業務分析のための図式化手法には、フローチャート化、DFD、UML等がある。
- ウ．業務分析は、システム化の目的や目標の設定の後工程として位置付けられ、業務分析の結果は、情報システム構築の次の工程であるシステム設計へと引き継がれる。
- エ．システム化に当たっては、業務分析で得られた現状業務の流れを尊重して実施することが重要である。

問題13 業務改善として以下の作業を順番に実施する場合、作業内容として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．業務改善では、現状を正しく把握するために、まず現状の業務で使用されているデータや問題等に関する各種情報を収集する。
- イ．収集したデータを分析し、あるべき姿と現状とのギャップを明確にすることにより、問題点を整理する。
- ウ．洗い出された問題点から業務改善を構想し、これをモデル化して、図表等に表現する。
- エ．現状とあるべき姿のギャップの原因を分析し、その原因を解消する業務改善施策を立案する。

問題14 システム開発を外部のベンダーへ依頼するときに使用する提案依頼書（RFP：Request For Proposal）の作成上の留意点として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．実現できるか否かに関係なく、出来るだけ細かく要求仕様を記載する。
- イ．記載項目（目次構成）や見積り項目とその単位（期間、人月など）を細かく指定する。
- ウ．自社を取り巻く環境や自社の経営戦略・情報化戦略などの概要を提供する。
- エ．現行システムリプレースの場合、既存システムの機能やデータ量まで情報提供する。

問題15 ハードウェアの導入計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．信頼性の高い機器やネットワークを選択しても、代替機やネットワークの迂回路を用意しておくといよい。
- イ．使いやすい機器を選定するためには、操作性、見やすさなどの人間工学に基づいて設計された機器を選ぶといよい。
- ウ．Webサーバーは、データアクセスの集中を考慮したデータ予測を行い、そのデータ量を処理できるよう、できるだけ高いスペックのマシンを導入するといよい。
- エ．新規にシステムを導入する場合には、必ずしも最新のマシンを選択しなくてもよい。

問題16 ウォーターフォール型開発、アジャイル型開発及びスパイラル型開発の特徴の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

<開発手法の特徴>

- a．タイムボックス等と呼ばれる短い単位で、優先順位の高い要件から開発を実施し、それを繰り返しながらシステムを順次完成させていく。
- b．プロジェクトの重要な課題を早い段階で解決することを目指すもので、システム性能や機能などの目標を設定してプロトタイプを作成し、それを評価・改善して完成度を高めていく。
- c．開発全体を工程に分割し、その工程を順番に行うもので、工程の終了を確認した後に、次の工程に進め、システム開発を逐次的に進めていく。
- d．開発の初期段階から試作品を作成し、要件を確認しながら進めることで、認識のずれがないようにシステム開発を進めていく。

|   | ウォーターフォール型開発 | アジャイル型開発 | スパイラル型開発 |
|---|--------------|----------|----------|
| ア | b            | a        | c        |
| イ | a            | d        | b        |
| ウ | c            | b        | d        |
| エ | c            | a        | b        |

問題17 以下の＜システム開発のステップ＞と＜各ステップにおいて作成されるドキュメント＞の組合せとして最も適切なものは、次のうちどれか。

＜システム開発のステップ＞

- ①：基本設計
- ②：プログラム設計
- ③：テスト
- ④：運用

＜各ステップにおいて作成されるドキュメント＞

- a：移行計画書
- b：入出力概要
- c：I P O
- d：インシデント記録
- e：インターフェース定義
- f：操作マニュアル

- ア. ① a      ② b      ③ f      ④ d
- イ. ① c      ② e      ③ d      ④ f
- ウ. ① b      ② c      ③ a      ④ d
- エ. ① e      ② f      ③ d      ④ a

問題18 システム開発に関わる法律の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 民法では、契約や債権に関する一般的な規定がされており、システム開発においては、請負契約や準委任契約についても定義されているため、アウトソーシングする場合の契約もこの法律がベースになる。
- イ. 個人情報保護法は、個人情報の取扱いに関する基本的な法律で、個人情報保護の管理水準を評価・認定する基準まで定義されており、個人情報を扱うシステム開発においては、この基準を満たす必要がある。
- ウ. 著作権法は、著作物の保護に関する基本的な法律で、システム開発において、パッケージソフトをカスタマイズする場合、その著作物に対し著作権侵害とならないよう、この規定を遵守する必要がある。
- エ. 不正アクセス禁止法は、コンピュータシステムへの不正アクセスを禁止する法律で、システム開発においては、セキュリティ対策を講じる際に、この規定を遵守し、I D、パスワードによるアクセス制御や多要素認証（M F A）を行う必要がある。

問題19 以下の＜事例＞において、B氏の要求を満たすために「品目名称」欄にて使用する画面部品として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

X社では、社内で使用する文房具や備品を購入する際、一般社員から購入希望を総務部門へ提出して、総務部門がまとめて購入することになっている。今回、その購入依頼を行う際のシステムを開発することになった。開発を担当する情報システム部門のA氏は、総務部門のB氏に画面要件のヒアリングをした際に「購入品目の入力には、品目種類を最初を選択して、次に具体的な品目名称を入力させるようにしたい。品目名称は、基本的には総務部門で指定したものから選択させるが、新製品にも柔軟に対応できるように、文字での直接入力も可能としたい。」といわれた。

- ア. コンボボックス
- イ. リストボックス
- ウ. テキストボックス
- エ. チェックボックス

問題20 「リレーショナルデータベース」の名称の由来である「リレーション」という言葉について、その意味を説明する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 網構造でデータが関連付けられていること。
- イ. キー項目とデータ項目が1対1で紐付<sup>ひも</sup>いていること。
- ウ. データがアプリケーションと独立して存在できること。
- エ. 複数の表を結合して利用できること。

問題21 システム開発における各テスト工程に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. プログラムテストは、ユーザー（業務部門）の責任で、作成したプログラムのプログラム設計への適合性をテストする工程である。
- イ. システムテストは、運用者の責任で、製造したシステムが設計書の機能要件を満たしているかテストする工程である。
- ウ. 運用テストは、ユーザー（業務部門）の責任で、製造したシステムを運用の視点でテストする工程である。
- エ. 移行テストは、開発者の責任で、製造したシステムの移行判定を行う工程である。



問題22 情報システムの信頼性評価指標には、「R A S I S」で表される5つの指標がある。この5つの指標のいずれにも当てはまらないものは、次のうちどれか。

- ア．情報システムの障害や故障の起きにくさ
- イ．情報システムの保守のしやすさ
- ウ．情報システムの機密性の高さ
- エ．情報システムの他の環境への移しやすさ

問題23 情報システムの利用者認証に関する考え方として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．指紋などの生体情報を利用した利用者認証は、生体情報が漏えいしたときに変更が困難なので、業務システムでは利用すべきではない。
- イ．「秘密の質問」のような利用者が任意に作成した情報を用いた利用者認証では、利用するときに間違えることのないよう、利用者は質問に事実即した正確な情報を登録する必要がある。
- ウ．パスワードを付箋に書き留めてディスプレイの裏やキーボードの下に貼って参照することは、オフィスの中であれば社外の者に盗み見られる可能性は低いため、作業効率を考えれば禁止する必要はない。
- エ．パスワードを短い期間で定期的に変更することを利用者に求めると、セキュリティリスクが高まるおそれがある。

問題24 インシデント管理で行われるエスカレーションの説明として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．障害を期限内に復旧するために行う。
- イ．障害の根本原因を特定して再発防止や改善策を提供するために行う。
- ウ．インシデントの業務への影響を最小限に抑えるために行う。
- エ．インシデントの解決に必要な権限やスキルを有する者に対応を委ねるために行う。

問題25 情報システムの構成管理で管理すべき情報に該当しないものは、次のうちどれか。

- ア．ハードウェアの購入価格の情報
- イ．ハードウェアの設置場所の情報
- ウ．ハードウェアやソフトウェアの契約書の情報
- エ．ソフトウェアのインストール先の情報

問題26 データベースに障害が発生したときの回復方法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．障害発生時直前のチェックポイントの前にコミットを発行しているトランザクションはロールバックし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールフォワードする。
- イ．障害発生時直前のチェックポイントから障害発生までの間にコミットを発行しているトランザクションはロールバックし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールフォワードする。
- ウ．障害発生時直前のチェックポイントの前にコミットを発行しているトランザクションはロールフォワードし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールバックする。
- エ．障害発生時直前のチェックポイントから障害発生までの間にコミットを発行しているトランザクションはロールフォワードし、障害発生時に処理中だったトランザクションはロールバックする。

問題27 以下の＜事例＞で利用するクラウドサービスとして適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

情報システムを自社開発することとなり、作成したプログラムをテストするために、OSなど基本ソフトウェアをセットアップした仮想サーバーを、社外のクラウドサービスを利用して準備することとした。なお、OSなど基本ソフトウェア以外のソフトウェアは自社で用意し、仮想サーバーにインストールを行う。

- ア．プライベートクラウド
- イ．SaaS
- ウ．IaaS
- エ．PaaS

問題28 SaaSにおけるSLA（Service Level Agreement）の記載項目として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．サービス事業者がSLAを守れなかった場合の対応
- イ．同時に利用可能な最大のユーザー数
- ウ．サービスの提供に使用するハードウェアのMTBF（Mean Time Between Failure）
- エ．利用者とサービス事業者の責任範囲

問題29 組織的なセキュリティ対策として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．情報セキュリティ保護対象となる情報資産を絞り込み、個々の資産の保護責任を定め、相反する職務及び相反する責任範囲は分離する必要がある。
- イ．情報セキュリティの専門組織や関係当局との適切な連絡体制を維持し、事件・事故発生時には適切な報告をしなければならない。
- ウ．個人情報や顧客秘密情報を業務委託先が漏えいした場合に、業務委託先の責任として対応するよう契約等で合意しなければならない。
- エ．外部からの不正アクセスによる情報セキュリティインシデント調査及び不正の証拠確保のために、全てのイベントログを取得し、ログ情報が改ざんされないように保護する必要がある。

問題30 以下はスマートフォン向けのネイティブアプリとW e bアプリの違いをアプリ開発者の視点で整理した比較表である。( a ) ～ ( f ) に入る語句の組合せとして適切なものは、次のうちどれか。

ネイティブアプリとW e bアプリの比較表

|          | ネイティブアプリ | W e bアプリ |
|----------|----------|----------|
| 動作する場所   | ( a )    | ( b )    |
| 動作速度     | ( c )    | ( d )    |
| 手数料の有無   | 必要       | 不要       |
| 配信の自由度   | ( e )    | ( f )    |
| ユーザーの操作性 | 優れている    | 劣る       |

|   | a          | b          | c  | d  | e  | f  |
|---|------------|------------|----|----|----|----|
| ア | 端末（デバイス）上  | W e bブラウザ上 | 速い | 遅い | 低い | 高い |
| イ | W e bブラウザ上 | 端末（デバイス）上  | 速い | 遅い | 高い | 低い |
| ウ | W e bブラウザ上 | 端末（デバイス）上  | 遅い | 速い | 低い | 高い |
| エ | 端末（デバイス）上  | W e bブラウザ上 | 遅い | 速い | 高い | 低い |

問題31 製造に関わるシステムと製造業務に関連する用語の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．P D M (Product Data Management) は、製品の設計に関する図面、部品表、変更履歴などのデータを一元的に管理し、設計開発業務の効率化を支援する。
- イ．クラウド上のW e b E D Iによって、受注・納期・出荷管理の他、在庫管理も実現している。
- ウ．C A M (Computer Aided Manufacturing) は、C A D (Computer Aided Design) で作成されたデータを用いて、N C 工作機械の制御するプログラム作成を行うシステムである。
- エ．D X F (Drawing Exchange Format) は、C A Dのデータ交換における標準的な形式で、数多くのC A Dアプリケーション間で基本的な図形情報の交換ができる。

問題32 販売活動に関わる用語の説明として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．購買心理プロセスにおけるS I P Sとは、S N Sが広く普及している環境において、マーケティング上重視されている消費者行動モデルのひとつで、ソーシャルメディアを利用する人々の購買行動に特化し提唱されたモデルのことをいう。
- イ．O 2 O (Online to Offline) マーケティングとは、オンライン（＝WEBサイト、インターネット広告、S N Sなど）で広く情報を発信し、集めた見込み客をオフライン（＝実店舗）へ誘導して購買を促す施策のことをいう。
- ウ．ライブコマースとは、ユーザーが商品を実際に手に取れない不安感を持つE Cのデメリットを解消するために、E Cサイトから実店舗にユーザーを誘導して販売スタッフが販売することをいう。
- エ．M E Oとは、Map Engine Optimization（マップ検索エンジン最適化）の略で、地域情報と密接に関わるためローカルS E Oとも呼ばれ、店舗や施設など、実際にユーザーの来店促進につなげることを目的に活用することをいう。

問題33 企業間取引に関する業務の流れとして不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．買主は、仕入商品の受入検収後、売買契約に基づき必要に応じて受入検収報告書を発行し、売主に送付した。
- イ．買主が、受入検収報告書を発行し、売主に送付してきたので、売主は、その受入検収報告書を受領後に請求書を発行し、買主に送付した。
- ウ．買主は、仕入商品を受入時に抜き取り不良検品をした結果、契約の内容に適合しないものが発見されたため、抜き取り検品した商品を除き残り全数を契約に基づいて売主に返品した。
- エ．買主は、仕入原料が製造現場で欠品状態であるため、受入後検収前に製造ラインに移送・投入し、事後検収報告を発行し、支払処理に回付した。

問題34 I C タグに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. I C タグを物流倉庫や図書館、書店などで管理対象のモノに貼り付けることによって、瞬時にデータの入力・認識ができる。
- イ. I C タグの単価が下がり、耐久性が向上したことで利用場面が増え、技術面で I o T の普及に貢献している。
- ウ. 小売店の P O S システムなどで商品を識別するために貼り付けられた I C タグには、商品の販売価格情報も記録されている。
- エ. I C タグの利用により、モノを動かさずに一括で検品を行えたり、棚卸し作業の削減などの省力化や、無断持ち出しや盗難防止といったセキュリティの強化も実現できる。

問題35 社内の情報共有に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 文書作成ソフトを利用して開発システムのアンケート結果をまとめ、社内のメーリングリストを利用し、アンケート結果の情報を共有した。
- イ. 表計算ソフトを利用して顧客管理のデータを入力し、ファイルを自分のパソコン上の共有設定されているフォルダに置いておき、社内のネットワークに接続している他のパソコンから顧客情報を閲覧・入力できるようにした。
- ウ. プレゼンテーションソフトを利用して、会議のプレゼンテーション用の資料をまとめ、W e b 上のオンラインストレージサービスを利用して、会議の参加メンバーに資料を共有できるようにした。
- エ. 社員のそれぞれの予定を W e b 上のカレンダーサービスに登録し、カレンダーを共有することで、お互いの予定を確認・追加ができるようにした。

問題36 データのビジネス活用に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 人による間違いを防ぐために、決定条件を全て定式化する。
- イ. データ量による影響を考慮して、統計的な分析結果に対して検定を行う。
- ウ. 欠損値を含んでいるデータベースは、統計処理ができないため破棄する。
- エ. 詳細な分析を行うためには、観測されたデータをそのまま利用する必要がある。

問題37 以下の＜事例＞に基づき、表の空欄とA B C分析を行った結果に関する考察として不適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

食料品を扱うA商店では、よく売れる商品を重点的に仕入れの対象とするために、商品の1日当たりの売上高を基に、表計算ソフトウェアを用いてA B C分析を行うことにした。分析の手順は次のとおりである。

- I. 分析対象の商品を10個選び、個々の商品の単価と売上数量から売上高を計算する。
- II. 売上高を合計する。
- III. 個々の商品の売上高比率（売上高合計に対する比率）を計算する。
- IV. 売上高比率の高い順に商品を並べ替える。
- V. 累積売上高比率を計算する。
- VI. 累積売上高比率が70%までの商品をAクラス、90%までの商品をBクラス、それ以外をCクラスとする。

この手順により、次の表が出来上がった。

| 商品名     | 単価<br>(円) | 売上数量<br>(個) | 売上高<br>(円) | 売上高比率<br>(%) | 累積売上高比率<br>(%) |
|---------|-----------|-------------|------------|--------------|----------------|
| お茶      | 150       | 600         | 90,000     | 30.0         | 30.0           |
| おにぎり    | 120       | 500         | 60,000     | 20.0         | 50.0           |
| 幕の内弁当   | 480       | 100         | 48,000     | ( a )        | 66.0           |
| サンドウィッチ | 240       | 150         | 36,000     | 12.0         | ( b )          |
| 缶コーヒー   | 120       | 200         | 24,000     | ( c )        | 86.0           |
| ガム      | 100       | 180         | 18,000     | 6.0          | ( d )          |
| アイスクリーム | 100       | 120         | 12,000     | 4.0          | 96.0           |
| 菓子パン    | 150       | 40          | 6,000      | 2.0          | 98.0           |
| 牛乳      | 100       | 30          | 3,000      | 1.0          | 99.0           |
| あめ<br>飴 | 100       | 30          | 3,000      | 1.0          | 100.0          |
| 合計      | —         | —           | 300,000    | 100.0        | —              |

- ア. ( a ) は16.0であり、幕の内弁当はAクラスに分類される。  
 イ. ( b ) は78.0であり、サンドウィッチはBクラスに分類される。  
 ウ. ( c ) は8.0であり、缶コーヒーはBクラスに分類される。  
 エ. ( d ) は90.0であり、ガムはCクラスに分類される。

問題38 データマイニングに関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. データを有効利用するため、企業内に散らばっている複数のシステムからデータを収集して統合データベースを作成すること。
- イ. 企業内の情報システムに記録・蓄積されたデータから、利用部門や用途、目的などに応じて必要なものだけを抽出、集計し、利用しやすい形に格納しておくこと。
- ウ. 情報システムに蓄積した大量のデータの集合をコンピュータによって解析し、これまで知られていなかった規則性や傾向など、何らかの有用な知見を得ること。
- エ. ある特定の商品売上データをエリア別で集計を行い、商品と地域との関係を見いだしたりするような分析方法のこと。

問題39 動画編集に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 動画のナレーション用に、漢字とかな交じりの日本語テキストから、音声合成が可能である。
- イ. 動画編集には、専用ソフトウェアが必要であり、Web上では作業できない。
- ウ. 動画の画質は、最終の書き出しフォーマットに影響されるため、取り込み時の画質に影響を受けない。
- エ. 動画は静止画に比べてデータが大容量のため、明るさや色合いの補正ができない。

問題40 ExcelスプレッドシートのVLOOKUP関数を使用する上での留意点として不適切なものは、次のうちどれか。ただし、VLOOKUP関数は、VLOOKUP（検索値，範囲，列番号，[検索方法]）と記載する。

- ア. VLOOKUP関数は左から右に検索を行う。そのため、検索キーは検索範囲の最左列に配置しておかなければならない。データの配置上、最左列に検索キーが置けない場合はVLOOKUP関数ではなく、INDEX関数とMATCH関数を組み合わせて検索する方法がある。
- イ. VLOOKUP関数の最後の引数は、完全一致（FALSE）か近似一致（TRUE）かを指定する。この引数を省略すると、デフォルトで近似一致が選択され、文字列を検索する場合は、完全一致を指定しないと正しくデータが取り出せないことがある。
- ウ. VLOOKUP関数が検索キーを見つけられないとき、#N/Aエラーを返してくる。これは検索値が検索キーよりも小さい値であったり、完全一致で検索している場合に部分一致しかしていない場合に発生する。
- エ. 近似一致で検索する場合、VLOOKUP関数は最初に見つけた最も近い値を返す。これは検索キーが順番に並んでいることを前提としており、近似値の見つけ方で昇順・降順を考慮して並べておく必要がある。